

第三者評価結果報告書

総 括	
対象事業所名	アスク戸塚保育園
経営主体(法人等)	株式会社 日本保育サービス
対象サービス	児童分野 保育所
事業所住所等	〒244-0003 横浜市戸塚区戸塚町4822-12 野村ビル
設立年月日	平成18年4月1日
評価実施期間	平成29年7月 ～29年11月
公表年月	平成30年3月
評価機関名	ナルク神奈川福祉サービス第三者評価事業部
評価項目	横浜市版
総合評価（事業所の特色や努力、工夫していること、事業者が課題と考えていること等）	
<p>【施設の立地・特徴】</p> <p>• 立地および施設の概要 アスク戸塚保育園は、JR東海道線および横浜市営地下鉄ブルーラインの戸塚駅から徒歩10分ほどのところにあり、長後街道沿いの鉄筋2階建てビルに入居しています。</p> <p>周辺は、マンション・戸建ての住宅や商店がある住宅地となっています。近隣には、大きな寺、大小の公園や河川敷があり、子どもが自然に触れ合うことができる環境となっています。</p> <p>• 園の特徴 開設は平成18年4月1日で、11年目の保育園です。定員58名で、現在58名在籍しています。1階に0、1歳児クラス、2階に2～5歳児クラスがあります。2歳児クラスは独立していますが、3～5歳児は、ワンフロアをロッカーで区切り、各クラスのスペースとして利用しています。場合により、区切りをなくし、広く利用することもあります。</p> <p>園庭は、園舎から50メートルほど離れており、花、野菜を育てたり、夏場のプール遊びを楽しんでいます。</p> <p>【特に優れていると思われる点】</p> <p>1. 遊び込める環境作り</p> <p>①保育室は1階が0、1歳児クラスで、2階は2歳児のみ保育室が独立していますが、3～5歳児クラスはワンフロアを各クラスで区切って使用しています。「朝の会」「帰りの会」はフロアごとに合同で行っています。朝夕の自由遊び時間は異年齢合同で一緒に過ごし、好きな遊びを楽しんでいます。とくに午後のおやつ後は、異年齢で遊ぶ時間を十分とり、それぞれ興味のあるコーナーで遊んでいます。</p> <p>スペースの制約がありますが、ロッカーを移動してクラスの仕切りをなくし、十分身体を使った遊びやリズム体操ができるように、職員間で連携を取り、活動に取り込んでいます。また、メリハリをつけて静かな活動に集中できるようコーナーを作るなどの工夫もしています。</p> <p>②積極的に散歩や戸外活動をしています。近隣の様々な公園や、電車を見に駅まで出かけ、乳児でも歩く距離を延ばしたり、バギーに乗っている子どもも、順番に職員と一緒に歩く機会を作っています。幼児は、広い公園で思いきり走ったり、チームでリレーをしたりしています。職員や友達と一緒に、草花や虫に触れたり、鳥の観察、川を眺めて水の流れや植物なども観察し、自然に触れる機会を楽しんでいます。保護者アンケートでも、「クラスの活動や遊びについて」「子どもが戸外遊びを十分しているか」「遊びを通じてともだちや保育者との関わりが十分もっているか」の項目で、肯定的回答がそれぞれ、97%、97%、100%と高い支持を得ています。</p>	

2. 職員の連携によるきめ細かい対応

保育室が1階、2階ともワンフロアのため、職員間で、その日の予定を確認しあい、連携・協力して保育にあたっています。散歩や活動の時間を調整しあったり、集中した活動を行いたい場合は、ほかのクラスが散歩に行っている間に行く、その時間帯を合同クラスとし、空いたスペースを使うなど落ち着いて取り組めるよう工夫しています。日常保育の中で、職員は、常にほかのクラスの子どもにも声かけしたり、トイシ、食事、活動の切れ目の時間帯などの手助けもお互いに行っています。また乳児会議・幼児会議でクラスを超えて、子ども一人一人を良く知り、対応できるよう熱心に話し合いをしています。

保護者へも、クラス担当に限らず話しかけ、子どものエピソードや楽しんでいた事・できた事などを伝えています。勤務年数の長い非常勤職員も多く、クラスを問わず、子どもや保護者と顔なじみになっており、安心感が持てる存在となっています。

保護者アンケートでも「あなたのお子さんが大切にされているか」「話しやすい雰囲気、態度であるか」の項目で肯定的回答はいずれも100%となっています。

3. 「たまごクラブ」の定期的な開催

今年度の「保育課程」に、地域の乳幼児（おもに乳児）を持つ親向けに子育て支援活動として「たまごクラブの開催」を盛り込み実行しています。0、1歳児クラス担当職員が中心となり、毎月1～3回開催しています。毎回、具体的な育児相談を受け付けるほか、参加者同士が困ったこと、悩んでいることを話し合ったり、共感しあったりする場ともなっています。また、職員が「保育園とはどういうところか」「ならし保育とはどういうことか」などを説明したり、園見学をプログラムに組み込み、子どもたちの様子、活動内容なども実際に見てもらったりしています。

【特に改善や工夫などを期待したい点】

1. 第三者委員の再確認

保護者からの要望・苦情の対応について、第三者委員も交えて対応する仕組みとなっていますが、現在、機能していない状況です。苦情解決窓口としての第三者委員の再確認が望まれます。

2. 要望・苦情の記録化

日常寄せられる意見や要望、苦情などについては、全職員に周知し、対策を講じていますが、記録が確認できませんでした。保護者から寄せられる細かな要望、意見なども記録に残し、蓄積・整理して、解決に活かすことが期待されます。

3. 地域に根差し、開かれた保育園運営

平成24～29年度中長期計画に「地域に開かれた保育園を目指す」をあげています。園行事の案内を掲示していますが、地域住民の参加実績はありません。また自治会や、地域の団体・関係機関との定期的な交流や協働した取り組みは行っていません。今後、自治会や地域の行事への参加や、地域の団体と定期的に交流の機会を持つなどの取り組みが期待されます。

評価領域ごとの特記事項

1. 人権の尊重

・設置法人統一の運営理念は「安心・安全を第一に」「お子様にとっていつまでも思い出に残る保育を」「利用者のニーズに合った保育サービスを」「職員が楽しく働けること」、保育の基本方針は「子どもの自ら伸びようとする力、後伸びする力を育てる、子どもの感受性や好奇心を自然な形で伸ばす」「五感で感じる保育の充実を目指す」としています。園目標は「元気なあいさつ・明るい笑顔」「花や緑を大切にしよう」としています。運営理念、園目標とも子どもを尊重したものとなっています。

・職員は設置法人研修などで、子どもの人権尊重について学んでいます。「保育園業務マニュアル」に人権の項目があり、言葉かけ・対応など職員に周知しています。

	<ul style="list-style-type: none"> ・設置法人作成の「個人情報保護マニュアル」があります。個人情報の取り扱いについて「保育園業務マニュアル」内に記載があり、入社時に説明を受け誓約書を会社に提出しています。 ・個人情報の取り扱いについて入園前の説明会で保護者に話をしています。「重要事項説明書」にも記載しています。ホームページ上の写真の掲載などについて承諾の有無を確認し保護者から承諾書を提出してもらっています。
<p>2.意向の尊重と自立生活への支援に向けたサービス提供</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保育課程は、保育理念、基本方針に基づき、子どもの最善の利益を第一義に作成しています。保育課程に基づき、年齢ごとにクラス担当職員が話し合い、指導計画を作成しています。子どもの様子、クラスの状況をみながら、安全面にも考慮し、子どもの意見を取り入れて自主性や主体性が育つように計画に柔軟性を持たせています。保護者の意向を送迎時の会話、行事アンケート、個人面談、懇談会、連絡ノートなどで確認し、評価・改訂に反映させています。 ・低年齢児クラスは、月齢や発達段階により、ベビーベッドやつかまり立ちできる低い棚などを用意しています。食事や午睡、活動の場は同じ保育室内ですが、動線や環境設定を工夫し、衛生面に配慮しています。 ・乳児、幼児はそれぞれワンフロアを保育室として使っており、日常的に交流しています。朝、夕の合同時間帯は異年齢で過ごしています。お誕生会、節分などの行事に、異年齢で交流しています。出席人数により、クラス別の「体操」「リトミック」の活動を合同で行う場合もあります。 ・ワンフロアを、クラスごとにスペースを区切って使用しています。ロッカー内におもちゃや絵本・お絵かきの道具などが整理して置かれています。おもちゃや絵本などを背の低いロッカーに収納することで子どもが取り出しやすくなっています。自由遊びの時間は、クラスを超えた異年齢合同で、色々な遊びのコーナーや場を設けています。 ・園庭で野菜や花の栽培や収穫を体験しています。積極的に散歩や戸外活動に出かけています。草花や虫に触れたり、鳥の観察、かたつむりを育てるなど自然や生き物に触れる機会を多く作っています。 ・職員は子どもの気持ちを受け止め、共感できるようにし、信頼関係を築くよう努めています。言葉遣いや対応について、園長・主任が助言や指導をするほか、設置法人階層別研修で学んでいます。 ・食事は、子ども同士や保育士と会話も楽しみながら食事をしています。食事量の少ない子どもには配膳時に少ない量にして食べること、おかわりをするなどで食べきる満足感を味わえるようにしています。食具は子どもの発達状況に応じ、対応しています。お当番活動、クッキング保育や野菜の栽培などを通し、自分たちで調理することの楽しさや、作ってくれる人への感謝の気持ちも持てるようにしています。 ・午睡は、眠れない子どもには身体を休める大切さを説明し、布団の上で横になるようにしています。乳幼児突然死症候群を防ぐために、呼吸チェックを行い、寝る姿勢についても確認し、記録をつけています。5歳児クラスは年明けから午睡の時間を減らし就学に向けて生活のリズムを調整しています。

	<ul style="list-style-type: none"> ・トイレトレーニングは子どもの個人差を考慮し保護者と相談しながら、個々のペースで進めています。 ・地域の施設利用や交流については、踊場公園内のログハウスや図書館、地域ケアプラザの利用をしています。戸塚消防署の見学に行くこともあります。
3.サービスマネジメントシステムの確立	<ul style="list-style-type: none"> ・ならし保育については、入園前説明会、入園前面談の時に保護者に説明しています。ならし保育は各家庭の都合に考慮し、期間を決めています。 ・「児童票」「面談シート」「健康調査票」を個人別ファイルにまとめています。入園後の子どもの成長については、毎月の身長・体重測定の結果や健診結果を「健康調査票」に記載しています。発達の記録は、0～2歳児は毎月、3～5歳児は3か月ごとに「児童票」に記入しファイルに綴じています。子どもの個別ファイルは事務室の鍵付き書庫に保管しており、職員は必要な時に事務室内で確認できます。 ・食物アレルギー、発達の遅れなど配慮を要する子どもを積極的に受け入れています。発達障がい、アレルギー対応などの設置法人研修を受講し、研修受講後は職員会議で、内容を報告しています。また職員会議、ケース会議で子どもの様子や状況を話し合っています。 ・虐待防止マニュアルがあります。設置法人の研修受講で、定義が全職員に周知されています。虐待が明白になった場合には、設置法人、戸塚区こども家庭支援課、横浜市南部児童相談所に通告、相談する体制となっています。 ・要望・苦情の受付担当は主任、解決責任者は園長としています。第三者委員の連絡先を園内掲示、および「入園のご案内」に記載していますが、現在連絡が取れていません。苦情解決窓口としての対応の改善が望まれます。横浜市福祉調整委員会の苦情相談案内ちらしを掲示しています。 ・健康管理、衛生管理、安全管理に関する各マニュアルを整備し、マニュアルに基づいた対応や、訓練、内部研修を行っています。
4.地域との交流・連携	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の乳幼児を持つ親向けの「たまごクラブ」、育児相談日、園見学者などから、子育て支援ニーズを把握しています。園長が戸塚区の保育園園長会議、地域ごと（戸塚西口地域）の園長会、新設園間話し合いなどに出席し、意見交換と情報交換をしています。 ・「たまごクラブ」を毎月1～3回開催しています。育児相談や参加者同士の話しあいや、園見学も同時に行っています。 ・散歩中に近隣の住民と挨拶を交わしています。戸塚消防署の見学に行くこともあります。クッキング保育の際、近隣の商店で食材の購入をしています。年長児が近隣地域の保育園との交流会に参加しています。高齢者施設「ミモザ」に4、5歳児が出かけ、一緒に歌ったり、プレゼント交換などをして交流をしています。 ・地域の自治会、団体や機関との定期的な交流は行っていません。今後、定期的な交流や協働への取り組みの検討が期待されます。

	<ul style="list-style-type: none"> ・入園希望者の問い合わせには、園長・主任がパンフレットや入園のご案内に基づき、対応しています。見学については、午睡や登降園の時間を避け主活動のある10時以降や午睡明けの15時以降を勧めています。可能な限り日程調整をおこなっています。また「たまごクラブ」参加者は園見学もプログラムに組み込んでいます。
<p>5.運営上の透明性の確保と継続性</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・園のパンフレットや設置法人のホームページにより園の情報などを掲載しています。さらに、財務データ、運営状況についても公開しています。 ・職員の守るべき倫理、サービス規程は、「就業規則」「保育園業務マニュアル」に明文化し、全職員に周知しています。 ・設置法人が作成配付している、倫理・規程が書かれた「CREDO」カードを全員所持しています。設置法人にコンプライアンス委員会を設置し、不正があった場合の連絡先などを事務室、休憩室に掲示し、直接通報できる仕組みがあり、職員に周知しています。 ・ごみ減量化、リサイクル分別をしています。牛乳パック、ペットボトルなど廃材を利用し、手作りおもちゃや製作に利用しています。ペットボトルの蓋回収箱を玄関に置いています。節電、節水に努めています。子どもが水を出しっぱなしにしないように伝えています。保護者にも節電に協力をお願いしています。 ・事業運営に影響のある情報は設置法人で収集・分析しています。園では園長が、設置法人園長会議、戸塚区園長会議や行政機関などから情報を収集しています。改善課題については、職員会議、幼児・乳児会議で話し合い、職員に周知し保育所全体の取り組みとしています。
<p>6.職員の資質向上の促進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・人材育成については経験年数に応じた、設置法人の「階層別研修」があります。年に2回職員は「自己査定」を行っています。個々の職員は「自己査定シート」をもとに、個別年間研修計画を作成し、半期ごとに振り返り、園長との個別面談を行い、目標の達成度、研修成果についての評価を行っています。 ・設置法人が年間研修計画を作成し、職員は「個人別年間研修計画」を立てています。非常勤職員も研修に参加できる体制となっています。研修受講後は、レポートを提出し、職員会議で報告や、保育に活かせる点を説明しています。資料、レポートはファイルにし回覧や閲覧できるようにしています。「おう吐処理」「衛生管理」については業務の中で、非常勤職員に説明や確認を行っています。 ・年間指導計画、月案、週案には評価反省の欄がある書式となっています。子どもの育ちや、意欲、活動への取り組みを重視して振り返りを行うようにしています。 <p>設置法人作成の「保育士人材育成ビジョン」に経験年数に応じた役割が期待水準として明文化されています。職員は年に2回「自己査定」をしています。園として毎年、第三者評価を受審しています。</p>



評価機関による評価



平成 29 年 10 月 26 日



事業所名 アスク戸塚保育園

 3つ：高い水準にある、2つ：一定の水準にある、1つ：改善すべき点がある



評価領域 I 利用者（子ども本人）の尊重





評価分類	評価の理由（コメント）
I-1 保育方針の共通理解と保育計画等の作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・設置法人統一の運営理念は「安心・安全を第一に」「お子様にとっていつまでも思い出に残る保育を」「利用者のニーズに合った保育サービスを」「職員が楽しく働けること」、保育の基本方針は「子どもの自ら伸びようとする力」「後伸びする力」を育てる、子どもの感受性や好奇心を自然な形で伸ばす」「五感で感じる保育の充実を目指す」としています。園目標は「元気なあいさつ・明るい笑顔」「花や緑を大切にしよう」としています。運営理念、園目標とも子どもを尊重したものとなっています。 ・運営理念は、玄関受付、事務室に、園目標は玄関掲示板に掲示してあります。また、保育課程に運営方針、基本方針、園目標が記載してあります。職員は入社時に、設置法人研修で基本方針を学んでいます。園では、年度初めに確認するほかに、ケース会議や日常業務の中で全職員が確認しあっています。 ・保育課程に、地域の実態や環境を考慮して、地域の乳幼児を持つ親向けの「たまごクラブ」開催や「地域住民への挨拶・交流」を盛り込んでいます。 ・保育課程に基づき、年齢ごとにクラス担当職員が話し合い、指導計画を作成しています。子どもの様子、クラスの状況をみながら、安全面にも考慮し、子どもの意見を取り入れて自主性や主体性が育つように計画に柔軟性を持たせています。2階幼児クラスでは、ワンフロアのため、常に連携を取り合っています。
I-2 子どもの発達や状況に応じた適切な援助の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・入園前に、職員が親子一緒の面接をしています。必要に応じ、栄養士も面談を行っています。面談時、保護者と子どもとの関わりや、子どもの様子を観察し、記録しています。 ・前もって保護者が記入済みの「入園時児童家庭調査票」「お子様の状況について」「児童健康調査票」と、面談時「入園前面談シート」をもとに、生育歴、家庭での状況などを把握しています。 ・ならし保育については、入園前説明会、入園前面談の時に保護者に説明しています。ならし保育は各家庭の都合に考慮し、期間を決めています。不安がある場合には、保護者も一緒に保育園で過ごす時間を設けています。 ・0、1歳児新入園児については、個別担当は決めていませんが、主任が保育に必ず入るようにしています。また入園当初は、担任以外の職員が保育室に出入りしないよう配慮しています。 ・0～2歳児は個別の「保育連絡ノート」で毎日の子どもの様子を伝えています。0歳児の連絡ノートは時系列になっており、食事、睡眠、排泄などを記入するほか、家庭での様子、園の様子を記述しています。幼児でも希望があれば、連絡ノートを利用したり、シール帳の記載欄を利用しています。 ・年齢ごとの指導計画を作成しています。年間指導計画は4期ごとに、月間指導計画は1か月ごとにクラス担当間で話しあい、作成・見直しを行っています。評価、改訂は、担任間で話し合い、カリキュラム会議（乳児・幼児別）と職員会議で説明し確認しあっています。


<p>I - 3 快適な施設環境の確保 </p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「衛生管理マニュアル」に沿って、園内外の清掃を行っています。清掃記録表を活用しています。シーツ、タオル、ぬいぐるみ、おもちゃも定期的に洗濯や消毒を行っています。24 時間換気システム、空気清浄機、加湿器があります。適宜窓を開放し空気の入替えを行っています。毎日、室温・湿度を測定し保育日誌に記録しています。季節・子どもの活動に合わせ、空調の温度を設定し、適切な環境を整えるようにしています。 ・1階のワンフロアを区切って、0、1歳児のスペースとし、2階は、2歳児クラスは独立していますが、3～5歳児クラスはロッカーで、クラスのスペースを分けたワンフロアとなっています。音楽や保育者の声が、騒音にならないよう、お互いに活動の打ち合わせや調整を行っています。 ・1階に温水シャワー付き沐浴設備があります。2階に温水シャワー設備があります。使用後に清掃するほか、「衛生管理マニュアル」に基づき、清掃・管理をしています ・低年齢児クラスは、月齢や発達段階より、ベビーベッドやつかまり立ちできる低い棚などを用意しています。食事や午睡、活動の場は同じ保育室内ですが、動線や環境設定を工夫し、衛生面に配慮しています。 ・乳児、幼児はそれぞれワンフロアを保育室として使っており、日常的に交流しています。朝、夕の合同時間帯は異年齢で過ごしています。「朝の会」「帰りの会」はフロアごとに合同で行っています。お誕生会、節分などの行事に、異年齢で交流しています。出席人数により、クラス別の「体操」「リトミック」の活動を合同で行う場合もあります。
<p>I - 4 一人一人の子どもに個別に対応する努力 </p>	<ul style="list-style-type: none"> ・3歳未満児について毎月個別指導計画を作成しています。幼児でも、障がいや見守りが必要な場合に個別指導計画を毎月作成しています。 ・個別の目標・計画はクラス担任で話し合い、毎月見直しています。カリキュラム会議、職員会議で子どもの状況を話し合い、柔軟に計画を見直しています。 ・「児童票」「面談シート」「健康調査票」を個人別ファイルにまとめています。入園後の子どもの成長については、毎月の身長・体重測定の記録や健診結果を「健康調査票」に記載しています。発達の記録は、0～2歳児は毎月、3～5歳児は3か月ごとに「児童票」に記入しファイルに綴じています。子どもの個別ファイルは事務室の鍵付き書庫に保管してあり、職員は必要な時に事務室内で確認できます。 ・進級の際は、児童票をもとに、年度初めに主任が全クラスおよび新入園児について、ケース会議で伝えています。 ・保育所児童保育要録は年長児担任が記載し、園長が確認後、就学予定校へ郵送しています。場合により、小学校より問い合わせがあれば、丁寧な説明をしています。

<p>I-5 保育上、特に配慮を要する子どもへの取り組み </p>	<ul style="list-style-type: none"> ・食物アレルギー、発達の遅れなど配慮を要する子どもを積極的に受け入れていません。発達障がい、関わり方、アレルギー対応などの設置法人研修を受講し、研修受講後は職員会議で、内容を報告しています。資料はファイルにし、誰でも見られるようにしています。また日ごろの様子、状態は保育日誌の「個別の記録」欄に記載しています。 ・障がいの特性を考慮した、個別指導計画を作成しています。気になる子の場合は、日常の様子、職員の対応を「日々の記録（要支援・障がい児）」に記録しています。 ・障がいに関する研修受講後、設置法人の発達支援チーム訪問後、戸塚地域療育センター見学後などに職員会議で報告しています。職員会議、ケース会議で、子どもの様子や状況を話し合っています。 ・虐待防止マニュアルがあります。設置法人の研修受講で、定義が全職員に周知されています。虐待に関する外部研修を主任が受講しています。また保育士として、子どもに対する言動や対応が虐待となりうる場合もあることを、園長が話をしたり、「問いかけシート」を記入してみる機会も設けています。 ・虐待が明白になった場合には、設置法人、戸塚区こども家庭支援課、横浜市南部児童相談所に通告、相談する体制となっています。疑わしい場合や見守りが必要な場合は、職員会議で周知し、子どもの様子、身体状況、食事の様子を観察しています。保護者の様子や心身状況を把握し、場合により、設置法人、横浜市南部児童相談所に連絡する体制となっています。
<p>I-6 苦情解決体制 </p>	<ul style="list-style-type: none"> ・要望、苦情の受付担当は主任、解決責任者は園長としています。園内に掲示するとともに、入園説明会で保護者に説明しています。 ・意見箱設置、行事後アンケート、個人面談、クラス懇談会などで意見や要望を聞く機会としています。 ・他機関の苦情解決窓口として、戸塚区福祉保健センターの連絡先を「入園のご案内（重要事項説明書）」に記載しています。横浜市福祉調整委員会の苦情相談案内ちらしを掲示しています。 ・保育園業務マニュアルに「苦情解決に関する要綱」があり、職員に周知されています。苦情や意見、要望については、全職員に周知し、対策を講じています。 ・第三者委員の連絡先を園内掲示、および「入園のご案内」に記載していますが、現在連絡が取れない状況となっています。 ・日ごろ寄せられる要望等には、対策を講じていますが、園として処理したケースの記録、日常寄せられる細かな要望、苦情の記録が確認できませんでした。 <コメント・提言> ・第三者委員 2 名の連絡先が園内掲示、および「入園のご案内」に記載されていますが、現在連絡が取れず、園長、保護者も面識がありません。苦情解決窓口としての対応の改善が望めます。 ・苦情や日常寄せられる細かな要望、意見なども記録に残し蓄積整理し、解決に活かすことが期待されます。



評価領域Ⅱ サービスの実施内容

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>Ⅱ－1 保育内容[遊び] </p>	<ul style="list-style-type: none"> ・クラスごとにスペースを区切っている低いロッカー内におもちゃや絵本・お絵かきの道具・教材などを用意し、子どもが自由に取り出し遊べるようにしています。 ・スペースが限られているため状況に応じてロッカーやテーブルを移動して、有効に空間を使い、子どもたちが楽しく過ごせるよう配慮しています。朝、夕の合同自由遊びの時間を十分とるほか、日課の合間にも工夫し、友だちと一緒に遊んだり一人遊びを楽しんでいます。 ・散歩の行き先や遊びについては可能な限り子どもの意見を聞き、活動に活かしています。職員は子どもの遊びに入ったり、見守りをしながら、子どもに声掛けしたり、興味を持った遊びを楽しめるよう援助しています。 ・園庭で野菜や植物の栽培や収穫をしたり、園の近くで見つけた鳥の卵や虫、かたつむりを育てるなど自然観察を通して命の大切さを伝えています。 ・CDをかけてリズム遊びで自由に体を動かしたり、それぞれ歌ったり、手遊びを楽しんだりしています。幼児は自分持ちの自由画帳、粘土、クレヨンがあり自由に使っています。絵画、製作ができるように、教材や素材は自由に使えるようにしています。時期を決めて廃材を集め、製作に使うこともあります。 ・職員は子どもの気持ちを受け止め、共感できるようにし、信頼関係を築くよう努めています。朝夕の自由遊びの時間や合同で散歩に出かけるときは、異年齢と一緒に遊んだり、年長クラスの子どもの年下の面倒をみるなどの機会となっています。 ・天気のよいときは積極的に外に出るようにしています。公園や川、電車を見に駅まで歩くこともあります。散歩では乳児クラスはバギーから降りて、歩く距離を延ばしたり、4、5歳クラスでは1時間近く歩いて目的地の公園に行っています。年齢に応じた遊具のある公園を選んで、出かけています。
<p>Ⅱ－1 保育内容[生活] </p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども同士や職員と会話も楽しみながら食事をしています。食事量の少ない子どもには配膳時に量を加減して食べること、おかわりをするなどで完食の喜びや満足感を味わえるようにしています。乳児でも、自分で食べようとする意欲を大切に、手づかみやスプーンでの食事がしやすくできるよう援助しています。「よくカミカミしよう」「おいしいね、ごっくんね」「お皿を押さえようね」など声掛けや配慮をしています。 ・幼児クラスでは給食当番が配膳やメニューの説明をしています。片づけは全員でしています。クッキング保育や野菜の栽培などを通し、自分たちで調理することの楽しさや、作ってくれる人への感謝の気持ちも持てるようにしています。 ・献立には旬の食材が使われています。毎月行事や季節にちなんだ、メニューがあり、盛り付けも彩りよく行っています。 ・食材は産地や安全性を確認してから使用しています。野菜・果物・肉など産地を園内に掲示しています。食器は強化磁器やプラスチックの物を使用しています。食器は常に点検し、随時入れ替えています。 ・残食のチェック表を使用し毎日確認しています。毎月、給食会議を開催し、料理の中で人気のあるもの、調理方法や硬さ、大きさ、味付けなどを検討しています。 ・毎月月末に離乳食用と幼児食用の献立表を配付しています。毎月給食だよりを発行し、旬の食材を使ったレシピや人気のあるメニュー、クッキング保育の様子を載せています。また野菜仕入れ業者社員が来園し、園児に色々な野菜を見せたり、野菜を園児と一緒に切ったりした様子なども給食だよりで紹介しました。夏祭りの際、人気のあるメニューの料理を保護者に試食してもらっています。 ・眠れない子どもには横になり身体を休める大切さを説明し、布団の上で横になるようにしています。乳幼児突然死症候群については入園前に保護者に説明を行っています。午睡中、0歳児は5分ごと、1、2歳児は10分ごとに呼吸チェックをし、寝る姿勢についても確認・記録をしています。就学前の子どもは年明けから午睡の時間を減らし就学に向けて生活のリズムを調整しています。 ・子どもの個人差を考慮し保護者と相談しながら2歳児クラスからトイレト


	<p>レーニングを始めています。園での排泄状況は保護者にも伝え連携を図っています。</p>
<p>Ⅱ－２ 健康管理・衛生管理・安全管理 [健康管理] </p>	<ul style="list-style-type: none"> ・既往歴や症状については入園児に保護者から提出されている「健康調査票」により情報を確認しています。「健康調査票」は随時更新しています。登園時に保護者から体調を確認しています。園での体調の変化は連絡ノートで知らせたり、緊急度により保護者に電話連絡しています。 ・歯磨きについて1、2歳児は職員が行っています。幼児クラスは自分で歯磨きをおこない職員が仕上げ磨きをしています。 ・嘱託医による健康診断は年2回、歯科健診は年1回実施しています。結果は書面で保護者に伝えています。健診の結果気になることがあれば保護者と相談し嘱託医・かかりつけ医との連携を図っています。歯科健診では虫歯についての話や歯磨きの指導をしてもらっています。 ・感染症については設置法人作成のマニュアルがあります。「入園のご案内（重要事項説明書）」に、園の対応や登園についてが記載されており、保護者に伝えています。 ・感染症発生時には玄関内、乳児クラス入口、2階踊り場ホワイトボードに掲示して周知しています。病名、症状、登園届の有無なども伝えています。戸塚区医師会から地域ごとに何が流行っているかや、患者数などの情報がファクスで届き、職員間で回覧しています。
<p>Ⅱ－２ 健康管理・衛生管理・安全管理 [衛生管理] </p>	<ul style="list-style-type: none"> ・設置法人作成のマニュアルがあり年度毎に読み合わせをし、内容の把握に努めています。 ・入職時に園内研修を行っています。マニュアル改定時やおう吐物処理などについては園内研修で確認するとともに、園として適格な手順も職員間で共有しています。 ・園内の清掃や消毒は職員が分担して行っています。事務所に清掃記録や消毒記録表記入で不備をなくすようにしています。
<p>Ⅱ－２ 健康管理・衛生管理・安全管理 [安全管理] </p>	<ul style="list-style-type: none"> ・設置法人作成の安全管理マニュアルと事故防止マニュアルがあります。地震等を想定し、背の高い収納庫などは天井への突っ張り棒を使い固定をしています。背の低いロッカーは転倒防止のストッパーを挟む対策をしています。 ・毎月色々な想定避難訓練をし、避難や通報、消火の方法を確認しています。保護者の引き取り訓練も行っています。雷やミサイル飛来時の対応も子どもに説明しています。119通報など緊急連絡の仕方や、行政・病院などの連絡先を事務室・園内に掲示してあります。保護者へは、災害伝言ダイヤルの利用方法を「重要事項説明書」に記載しています。 ・職員は設置法人研修、日本赤十字社が行う幼児安全法講習を受講し、応急処置、心肺蘇生法を学んでいます。 ・子どものケガは軽症であっても、必ず保護者に伝えています。内容により保育日誌やアクシデントレポートに記録しています。また「伝達ノート」に記録し、職員間で引継ぎを徹底するようにしています。 ・事故やケガについては、「アクシデントレポート」を作成し、乳児会議・幼児会議・職員会議で報告し再発防止策を検討しています。 ・不審者を想定した訓練を行っています。玄関と門扉は電子錠となっており必要時以外は施錠しています。警備会社と契約をし、事務所に、緊急通報装置があります。
<p>Ⅱ－３ 人権の尊重 </p>	<ul style="list-style-type: none"> ・職員は設置法人研修などで、子どもの人権尊重について学んでいます。「保育園業務マニュアル」に人権の項目があり、言葉かけ・対応など職員に周知しています。 ・子どもに対し、威圧的な態度、言葉遣い、呼び捨てなど不適切な保育が行われなように、園長・主任が助言、指導するほか、職員同士でも注意や助言をし合い対応の改善を心掛けています。保育室がワンフロアのため、大声になり過ぎないように配慮をしています。保育活動や食事の時間も、職員が余裕を持つようにし、子ども



	<p>をせかしたり強制せず、年齢に応じた分かりやすい言葉かけをするように努めています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワンフロアに複数クラスがあるため、友だちや保育士の視線を意識せず過ごせる場として、違うクラスに行ったり、ロッカーのかげ、ロッカー移動で空間を作るなど工夫しています。 ・個人情報の取り扱いについて保育園業務マニュアル内に記載があります。職員は入社時に説明を受け誓約書にサインをし、会社に提出しています。設置法人作成の「個人情報保護マニュアル」があり、事務所に保管しいつでも確認できるようになっています。 ・個人情報の取り扱いについて入園前の説明会で保護者に話をしています。「重要事項説明書」にも記載しています。ホームページ上の写真の掲載などについて承諾の有無を確認し保護者から承諾書を提出してもらっています。 ・職員会議で、無意識な固定観念で保育をしていないか、園長が話をし、職員間で考える機会としています。遊びや行事の役割などは子どもの希望や意思を尊重し、持ち物、服装、色などで性別のよる区別をしないように留意し、保育をしています。
<p>Ⅱ－４ 保護者との交流・ 連携 </p>	<ul style="list-style-type: none"> ・基本方針は入園時に「入園のご案内（重要事項説明書）」を配付し、説明しています。年度初めの保護者会で運営理念・園目標・年間カリキュラムなどを説明しています。行事後アンケート実施、年度末保護者会で意見や感想、要望などを聞くなどし、保育方針が理解されているか把握しています。 ・0～2歳児は毎日、個別連絡ノートを活用し情報交換しています。幼児クラスは活動の様子をクラスノートに記載しています。保護者に口頭で伝える場合、子どものエピソードや、その日頑張ったことなど伝えるよう努力しています。 ・個人面談は年 2 回期間を決めて、実施しています。保護者の要望があれば、いつでも対応しています。 ・保護者からの相談を受けた職員は園長・主任に報告し助言を受けて、適切な対応ができる体制を作っています。継続支援ができるよう「相談記録」として内容を記録しています。 ・園だより、クラスだよりを毎月発行し園での生活の様子を伝えています。また保健だより、給食だより、英語・体操・リトミックだよりも毎月発行し、保護者に配付しています。 ・保育参観、保育参加は期間を設け、期間中保護者の都合に合わせて参加できるようにしています。その期間の予定（散歩やクッキング保育など）も伝え、参加を勧めています。 ・保護者組織はありませんが、保護者とは常にコミュニケーションをとるよう努めています。ベビーヨガ、交通安全教室開催の話し合いに参加し、ベビーヨガ講座を一緒に開催しました。 <p><工夫している点></p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育室がワンフロアのため、職員間で連携・協力して保育をしており、それぞれのクラス担当の職員でも、ほかのクラスの状況も把握しています。保護者へも、クラス担当職員に限らず話をしたり、子どものエピソードを伝えています。

評価領域Ⅲ 地域支援機能




評価分類	評価の理由（コメント）
Ⅲ－１ 地域のニーズに応じた子育て支援サービスの提供 	<ul style="list-style-type: none"> ・園行事などに地域住民の参加をよびかけています。地域の乳幼児を持つ親向けに「たまごクラブ」を月１～３回開催しています。育児相談日を設けています。入園希望者の園見学时、「たまごクラブ」利用者の日常の具体的な育児相談や質問に応じ、ニーズの把握をしています。 ・園長が戸塚区の保育園園長会議、地域ごと（戸塚西口地域）の園長会、新設園間の話し合いなどに参加し、意見交換と情報交換をしています。 ・「たまごクラブ」開催担当者間で定期的に話し合いをしています。地域住民向けに、「ベビーヨガ講習」を企画しました。 ・一時保育、園庭開放、交流保育は行っていませんが、「たまごクラブ」を毎月１～３回開催しています。育児相談、参加者同士の話しあいや、園見学も同時に行っています。 <p><工夫している事項></p> <p>「たまごクラブ」は乳幼児を持つ親向けですが、まだ子どもが生まれていない人も参加しています。開催担当は０、１歳児クラス担当職員が担っています。毎回育児相談を受け付けるほか、参加者同士が困ったこと、悩んでいることを話し合う場となっています。職員が保育園とはどういうところかを説明したり、園見学もプログラムに組み込んでいます。</p>
Ⅲ－２ 保育園の専門性を活かした相談機能 	<ul style="list-style-type: none"> ・園見学者、「たまごクラブ」利用者に随時情報提供しています。設置法人ホームページ、横浜市ホームページ、戸塚区の子育て情報誌に園情報を載せています。行事案内を園の門扉に掲示しています。 ・育児相談は毎週水曜日１０時～としています。「たまごクラブ」（月１～３回開催）参加者からの相談が多く寄せられています。 ・地域の医療機関、行政機関、消防署、学校関係などの一覧表を掲示版に掲示しています。行政機関、関連施設の電話番号は電話機に登録しています。 ・横浜市戸塚地域療育センター、横浜市南部児童相談所、近隣小学校、戸塚区こども家庭支援課と日常的な連携ができています。

評価領域Ⅳ 開かれた運営




評価分類	評価の理由（コメント）
Ⅳ－１ 保育園の地域開放・地域コミュニティへの働きかけ 	<ul style="list-style-type: none"> ・夏祭りなど行事案内をしていますが、近隣住民の参加はありません。 ・地域の行事催事のお誘いはありますが参加には至っていません。自治会とも連携をとるようにしていますが、地域の団体や機関との定期的な交流は行っていません。 ・散歩や戸外活動で、踊場公園内のログハウスや図書館、地域ケアプラザの利用をしています。散歩中に近隣の住民と挨拶を交わしています。戸塚消防署の見学に行くこともあります。クッキング保育の際近隣の商店で食材の購入をしています。 ・年長児が近隣地域の保育園との交流会に参加しています。近隣の高齢者施設に４、５歳児が出かけ、一緒に歌ったり、プレゼント交換などし、交流をしています。 ・園内に「地域のふれあい祭」「小学校の運動会の案内」、地区センターで開催される「おもちゃ紹介」などのチラシを置き、親子で参加できるよう配慮しています。 <p><コメント・提言></p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後、地域との団体、機関との定期的な交流や協働への取り組みの検討が期待されます。

<p>IV-2 サービス内容等に関する情報提供</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・園のパンフレットや設置法人のホームページに園の情報を掲載しています。幼稚園・保育園案内の電子情報提供媒体に基本情報を載せています。 ・利用希望者の問い合わせには、パンフレット、入園のご案内に基づき、園長・主任が対応しています。見学ができることも伝えています。 ・見学は午睡や登降園の時間を避け、主活動のある 10 時以降や午睡明けの 15 時以降をすすめています。可能な限り希望に沿うよう調整を行っています。園見学時には入園希望者からの質問を受けたり園の子どもたちと触れ合う時間も持てるようにしています。また「たまごクラブ」参加者に園見学の時間もプログラムに取り入れています。
<p>IV-3 実習・ボランティアの受け入れ</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・「ボランティア受け入れマニュアル」があります。保護者には、園だよりなどで伝えています。受け入れ担当は主任となっています。受け入れ時に、活動時の注意事項や、個人情報の保護についてオリエンテーションを行っています。ボランティア受け入れ実績がありますが、ボランティア活動の記録が確認できませんでした。 ・「実習生受け入れマニュアル」があります。職員には入社時研修や職員会議で周知しています。保護者には園だよりで、受け入れ期間や目的を伝えています。 ・受け入れ担当の主任が実習生の学年や学校からの実習内容の要請によりプログラムを組んでいます。オリエンテーションを行い、実習目的に応じ、本人の希望も取り入れ、プログラムを決めています。実習期間のうちにすべてのクラスに関わるように配慮しています。英語やリトミック・体操などの活動も見られるようにしています。 ・実習生は、実習に入ったクラス担当職員と、子どもの午睡時、当日の実習終了時にお互い気になることや質問事項などを話し合うようにしています。実習日誌の内容確認と書き方のアドバイスもしています。 <p><コメント・提言></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア受け入れ記録の整備が期待されます。

評価領域V 人材育成・援助技術の向上

評価分類	評価の理由（コメント）
V-1 職員の人材育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・園の人材構成は、クラス編成、勤務時間、経験年数、正社員・非常勤職員との組み合わせなどを園長・主任が考慮し、必要な場合は設置法人より補充が行われています。園でも「保育士募集」の掲示を園門扉に貼っています。 ・人材育成については経験年数に応じた、設置法人の「階層別研修」があります。年に2回職員は「自己査定」を行っています。「自己査定シート」に新人・中堅・主任・園長としての習熟度に応じた努力目標が明記されています。 ・設置法人が年間研修計画を作成し、職員は「個人別年間研修計画」を立てています。園長は計画作成時や振りかえりの際に、助言や検証をしています。非常勤職員も研修に参加できる体制となっています。園の内部研修（3テーマを設けた）は非常勤職員は参加していませんが、「おう吐処理」「衛生管理」については業務の中で、非常勤職員に説明や確認を行っています。 ・横浜市主催「虐待について」、戸塚区主催「保護者対応」の外部研修や、療育センター見学会に職員が参加しています。 ・研修受講後は、レポートを提出し、職員会議で報告や、保育に活かせる点を説明しています。資料、レポートはファイルにし回覧や閲覧できるようにしています。 ・非常勤職員も常勤職員と同じ保育園業務マニュアルを使用しています。業務については、経験年数、勤務時間、適性など考慮して常勤職員との組み合わせに配慮しています。経験年数が高い非常勤職員が多く、子どもや保護者ともコミュニケーションがとれています。内外の研修は非常勤職員も参加できる体制になっています。日常業務の中で、業務の確認や保育力向上を図っています。場合によりパート会議を開き、保育内容の確認や意見把握をする機会を作っています
V-2 職員の技術の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・各指導計画の評価、反省で自己評価をしています。年に2回「自己査定」をしています。園として毎年、第三者評価を受審しています。 ・横浜市戸塚地域療育センターからの指導、助言を受けています。おもちゃコンダクター（ボランティア）からのおもちゃの選び方、使い方の助言を受けています。保育園の安全に関する専門家が来園し、危険箇所についてのアドバイスを受け、緩衝クッションやテープを貼る対策を行いました。 ・年間指導計画、月案、週案に評価反省の欄があり、定型化された書式となっています。子どもの育ちや、意欲、活動への取り組みを重視して振り返りを行うようにしています。職員のやりたいこと、職員の設定した点からの反省ではなく、子ども主体であることに気をつけています。 ・クラス担当職員間や幼児・乳児会議で話し合い、職員会議で報告しています。職員間での話し合い、第三者評価受審の取り組み・評価結果の話し合いから園としての課題を明らかにするよう努めています。保育所としての自己評価を書面にまとめ、年度末に保護者に配付しています。
V-3 職員のモチベーションの維持 	<ul style="list-style-type: none"> ・年2回実施「自己査定」に階層ごとの役割が期待水準として記載されています。設置法人作成の「保育士人材育成ビジョン」に経験年数に応じた役割が期待水準として明文化されています。 ・クラス運営、行事担当、各職務について現場の職員に権限の委譲をしています。報告、連絡、相談を怠らぬよう指導し、最終責任は園長が負うことになっています。 ・各会議、打ち合わせ時、面談などで改善提案を募るほか、日常的は会話からも意見を聴取しています。個別の面談を年2回実施し、仕事内容の満足度や要望を聞いています。また日常の中でも個別に話をする機会を持つようにしています。話がしやすい雰囲気づくりをしています。

評価領域VI 経営管理

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>VI-1 経営における社会的責任</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の守るべき倫理、服務規程は、「就業規則」「保育園業務マニュアル」に明文化し、全職員に周知しています。設置法人が作成配付している、倫理・規程が書かれた「CREDO」カードを全員所持しています。設置法人にコンプライアンス委員会を設置し、不正があった場合の連絡先などを事務室、休憩室に掲示し、直接通報できる仕組みがあり、職員に周知しています。 ・設置法人のホームページに財務データ、運営状況について公開しています。 ・設置法人園長会、設置法人からEメールで送付される安全に関する情報、戸塚区園長会、報道などから得た、他施設での不適切事例を職員会議で取り上げています。設置法人にレポートを提出することもあり、職員の意識を高めています。 ・ごみ減量化、リサイクル分別をしています。牛乳パック、ペットボトルなど廃材を利用し、手作りおもちゃや製作に利用しています。ペットボトルの蓋回収箱を玄関に置いています。 ・節電、節水に努めています。子どもが水を出しっぱなしにしないように伝えています。保護者にも節電に協力をお願いしています。 ・環境への取り組みの明文化されたものはありません。 <p><コメント・提言></p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境への取り組みを明文化し、運営に活かすとともに、子どもや保護者に向けて啓発していくことが期待されます。
<p>VI-2 施設長のリーダーシップ・主任の役割等</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・理念、基本方針、園目標を園内に掲示しています。保育課程に理念、基本方針、園目標を明記しています。 ・入社時に、設置法人研修で、理念・基本方針について学んでいます。園では、新しく配属された場合に、園長が説明しています。職員会議で理念や基本方針に基づいた保育について話し合っています。園長や主任が、職員面談の折や、日常保育の中で確認をしています。 ・重要な意思決定が必要な場合には、保護者にアンケートをとったり、運営委員会で意見交換をする機会があります。保育内容、行事変更について、職員会議で職員に説明しています。保護者には、懇談会、園だより、園内掲示のほか、日常会話の中でも、逐次知らせています。今年度の、運動会会場確保について、保護者に丁寧に説明し連携して、決定した事例があります。 ・主任クラス育成プログラムとして、設置法人の階層別研修があります。 ・主任は個々の職員の業務状況、職員配置などを把握し、半月ごとの勤務シフト編成をしています。主任は園長と連携をとりながら、各職員の様子を把握し、指導や助言をしています。また保育に入ったり、職員の話をよく聞くなどし、心身の状態に気を配り、負担が多くならないように配慮しています。
<p>VI-3 効率的な運営</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業運営に影響のある情報は設置法人で収集・分析しています。園長は設置法人園長会議、戸塚区園長会議や行政機関などから情報を収集しています。 ・重要な情報は職員会議で報告したり、資料を配付するなどしています。また園長・主任・リーダー2名で合議することもあります。改善課題については、職員会議、幼児・乳児会議で話し合い、職員に周知し保育所全体の取り組みとしています。 ・園としての、平成24～29年度の中長期計画があります。 ・運営、サービスプロセスの新たな仕組みは設置法人で検討しています。 ・次代の施設運営に備え、設置法人が後継者育成の計画を作っています。園でも、リーダーを中心に会議、とりまとめなどを任せ、後継者育成をはかっています。 ・設置法人は運営について、関係機関、大学、行政、労務など専門機関から意見を取り入れています。

利用者家族アンケート

事業所名:アスク戸塚保育園

ナルク神奈川福祉サービス第三者評価事業部

結果の特徴

◇ 調査対象

調査時点での在園児数58名、全保護者 47家族を対象とし、回答は30家族からあり、回収率は64%でした。

◇ 調査方法

評価機関で準備した「家族アンケート用紙」と返信用封筒を、保育園から保護者に直接渡し、約2週間後までに密封して匿名で 保育園で用意した回収箱に入れてもらい、密封のままの状態の評価機関が回収しました。

◇ 総合満足度

肯定的な回答は100%(満足70%、どちらかといえば満足30%)と高い評価を得ており、否定的な回答は0%でした。

◇ 比較的満足度の高い項目

1) 設問2の「入園したときの状況」では、すべての項目を併せて平均してみると、肯定的回答が97%に達していました。特に「見学の受け入れ」及び「入園前の情報提供」の項目では、すべての回答が肯定的でした。

2) 設問4の「遊び」では、すべての項目を併せ平均してみると、肯定的回答が97%に達していました。特に「遊びを通じた友達や保育士との関わり」の項目では、すべての回答が肯定的でした。

3) 設問4の「生活」では、すべての項目を併せて平均してみると、肯定的回答が95%に達していました。特に「給食を楽しんでいる」、「生活習慣の自立」及び「昼寝などのときのお子さんへの対応」の項目では、すべての回答が肯定的でした。

4) 設問7の「職員の対応」では、すべての項目を併せて平均してみると、肯定的回答が97%に達していました。特に「お子さんは大切にされているか」、「お子さんは保育園生活を楽しんでいるか」及び「話しやすい雰囲気、態度であるか」の項目では、すべての回答が肯定的でした。

◇ 比較的満足度の低い項目

1) 設問5の「園の快適さや安全対策」では、「施設設備について」、「外部からの不審者侵入防止対策」及び「感染症の発生状況などの情報提供」の項目については、否定的な回答がそれぞれ20%、17%、17%ありました。

調査結果

■園の基本理念や基本方針について

施設の基本理念や基本方針の認知	よく知っている	まあ知っている	どちらともいえない	あまり知らない	まったく知らない	無回答
	%	10	60	17	13	0

↓ 問1で「よく知っている」、「まあ知っている」と回答した方のうち

付問1

理念や方針への賛同	賛同できる	まあ賛同できる	どちらともいえない	あまり賛同できない	賛同できない	無回答
	%	76	24	0	0	0

■施設のサービス内容について

問2 入園した時の状況

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
見学の受け入れについては	63	37	0	0	0	0
	その他:					
入園前の見学や説明など、園からの情報提供については	43	57	0	0	0	0
	その他:					
園の目標や方針についての説明には	40	53	7	0	0	0
	その他:					
入園時の面接などで、お子さんの様子や生育歴などを聞く対応については	64	30	3	3	0	0
	その他:					
保育園での1日の過ごし方についての説明には	47	50	3	0	0	0
	その他:					
費用やきまりに関する説明については (入園後に食い違いがなかったかを含めて)	47	50	0	3	0	0
	その他:					

問3 保育園に関する年間の計画について

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
年間の保育や行事についての説明には	53	37	7	3	0	0
	その他:					
年間の保育や行事に、保護者の要望が活かされているかについては	47	47	3	3	0	0
	その他:					

問4 日常の保育内容について

遊びについて

	満足	どちらかといえは満足	どちらかといえは不満	不満	その他	無回答
クラスの活動や遊びについては (お子さんが満足しているかなど)	80	17	3			
	その他:					
子どもが戸外遊びを十分しているか については	77	20	3	0	0	0
	その他:					
園のおもちゃや教材については (お子さんが自由に使えるように置 いてあるか、年齢にふさわしいかな ど)	74	23	3	0	0	0
	その他:					
自然に触れたり地域に関わるなど の、園外活動については	63	30	7	0	0	0
	その他:					
遊びを通じて友だちや保育者との関 わりが十分もっているかについては	80	20	0	0	0	0
	その他:					
遊びを通じたお子さんの健康づくり への取り組みについては	70	27	3	0	0	0
	その他:					

生活について

	満足	どちらかといえは満足	どちらかといえは不満	不満	その他	無回答
給食の献立内容については	80	13	7	0	0	0
	その他:					
お子さんが給食を楽しんでいるか については	83	17	0	0	0	0
	その他:					
基本的な生活習慣(衣服の着脱、手洗 いなど)の自立に向けての取り組み については	73	27	0	0	0	0
	その他:					
昼寝や休憩がお子さんの状況に応じ て対応されているかなどについては	83	17	0	0	0	0
	その他:					
おむつはずしは、家庭と協力し、お 子さんの成長に合わせて柔軟に進め ているかについては	50	27	7	0	7	9
	その他: まだ、その時期でない。					
お子さんの体調への気配りについて は	60	40	0	0	0	0
	その他:					
保育中にあったケガに関する保護者 への説明やその後の対応には	66	27	7	0	0	0
	その他:					

問5 保育園の快適さや安全対策について

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
施設設備については	33	47	10	10	0	0
	その他:					
お子さんが落ち着いて過ごせる雰囲気については	57	37	3	3	0	0
	その他:					
外部からの不審者侵入を防ぐ対策については	37	43	10	7	3	0
	その他:					
感染症の発生状況や注意事項などの情報提供については	63	20	17	0	0	0
	その他:					

問6 園と保護者との連携・交流について

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会については	54	40	3	0	3	0
	その他: 仕事で参加していないのでわからない。					
園だよりや掲示などによる、園の様子や行事に関する情報提供については	64	33	0	0	3	0
	その他: 給食メニューが上の子とちがうので、それぞれもらいたいが、いつも下の子のものしかもらえない。					
園の行事の開催日や時間帯への配慮については	57	33	7	3	0	0
	その他:					
送り迎えの際のお子さんの様子に関する情報交換については	61	33	3	3	0	0
	その他:					
お子さんに関する重要な情報の連絡体制については	60	27	10	0	3	0
	その他:					
保護者からの相談事への対応には	67	30	3	0	0	0
	その他:					
開所時間内であれば柔軟に対応してくれるなど、残業などで迎えが遅くなる場合の対応には	71	23	0	3	3	0
	その他:					

問7 職員の対応について

		満足	どちらかといえは満足	どちらかといえは不満	不満	その他	無回答
あなたのお子さんが大切にされているかについては	%	90	10	0	0	0	0
	その他:						
あなたのお子さんが保育園生活を楽しんでいるかについては	%	87	13	0	0	0	0
	その他:						
アレルギーのあるお子さんや障害のあるお子さんへの配慮については	%	70	20	0	0	10	0
	その他:						
話しやすい雰囲気、態度であるかどうかについては	%	80	20	0	0	0	0
	その他:						
意見や要望への対応については	%	70	27	3	0	0	0
	その他:						

問8 保育園の総合的評価

		満足	どちらかといえは満足	どちらかといえは不満	不満	無回答
総合満足度は	%	70	30	0	0	0

観察方式による利用者本人調査

平成 29 年 9 月 20 日 9 月 26 日

事業所名：アスク戸塚保育園

【0 歳児】

<散歩>

2 台のバギーに乗り、お散歩に出かけます。行先は駅近くの男女共同参画センターの中庭です。途中の道で出会う地域の人達が、「かわいいね」「お散歩いいね」「いってらっしゃい」など、声をかけてくれます。駅近くで、電車が見えると、指さして喜んでいる子に「電車だね」と話しかけると、ニコニコしています。川にかかった橋の上から、「大きな鳥（鷺）がいるよ」「鳥さんみてみて」「何の鳥かな」と話したり、保育士が歌を歌ったりしています。何人かの子どもが、バギーを降りて、保育士と手をつなぎ、歩いていく場面もありました。「がんばれ、がんばれ」「歩くの嬉しいね」「よく歩けるようになったね、もっと歩きたいね」など、それぞれ声かけされて、得意そうです。

目的地の中庭（草地）にシートを広げると、シートの上に座ったり、保育士と一緒に、歩き回ったり、草を引っ張ってみたりしています。保育士がシャボン玉を吹くと、シャボン玉を追いかけている子もいました。ほかの保育園のお友達（年上）も来ていて、虫取りや、鬼ごっこをしている姿をじっと見たり、後を追いかけてたりする子もいます。

<自由遊び>

人形、ままごと、ブロックなどで、それぞれ思い思いに遊んでいます。しばらくして「お片付けしよう。みんなで、ナイナイしてくれるかな」と保育士が伝えると、おもちゃの種類別の箱に、上手にしまっています。保育士が別のおもちゃを準備しています。皆、何かたと興味深そうに保育士の出してくれるものを、待っています。透明の箱や長い筒の蓋に細い穴が開いていて、楕円形のプレートを差し込んで、中に入れていく遊びです。プレートは 3 色あり、穴も 3 個開いていて、色が塗ってあります。「同じ色のところから入れてみよう」

「どの色がいい？」など話しかけています。たくさん入れて、満足そうな子、箱や筒をゆすって、中のプレートがぶつかる音を楽しんでいる子、プレートだけを集めている子、保育士の膝に乗って動かない子、低い手すりにつかまって、ゆさゆさしたり、手すりを伝って移動するのを楽しんでいる子もいます。

<排泄>

遊んでいる途中、「〇ちゃん、どうかな、おむつ替えしてみよう」と保育士が声掛けし、トイレに近い場所に、シートを敷き準備しています。声を掛けられ

た子は、保育士の近くに寄り、自分でズボンを下げようとしています。保育士が手伝いながら、手早く、おむつを替えています。「すっきりしてよかったね」と言われ、ニコニコしながら遊びに戻っていきます。何人か、順番に替えてもらっていましたが、手伝ってもらわずに、ズボンを自分で最後まで、履くまで頑張っている子もいました。

<食事>

給食の歌を歌って、頂きますの挨拶をし、一人ずつに保育士が、配膳し食事が始まります。援助が必要な子どもには、食べる早さや、何が食べたいのか、口に入れる分量も配慮しながら、保育士が援助しています。「おいしいね」「えらいね、〇も食べたね、すごいなあ」「たくさん食べてね」と声掛けしています。

【1歳児】

<自由遊び>

数種類のブロック、車、絵本などで遊んでいます。車を友達同士で見せ合ったり、走らせたり、ブロックで、長い形を作ったり、重ねて形を作ったり、何人か保育士の膝に乗ったりしています。しばらくして、0歳児と合同で遊ぶことにしたようで、「お片付けしたら、ひよこさんクラスに行こうかな」「みんなで、お片付けしようね」「みんなでやれば早くできるね」

「ひよこさんクラスに行く前に、ちょっと、ダンスしてから行きましょう」とCDをかけ、皆で身体を動かしていました。

<排泄>

「Aちゃん、トイレ行く？ Bちゃんも行こうか」と保育士は2人を連れて、トイレに行きます。子どもはおむつを自分でゴミ箱に入れていました。トイレから「出たよ～」と戻ってくると別の保育士が「おかえり～ さっぱりしたね」と話しかけています。

部屋の中で、保育士に替えてもらっている子もいます。「おむつ大丈夫かな」「ちょっと、見てみようね」順番に、替えてもらっています。手早く替えてもらい、すぐ遊びに戻っていきます。

<食事>

皆でテーブルを囲み、「エプロンつけましょう」と保育士が声かけすると、自分でエプロンを付けています。ホックを上手にできない場合は保育士に手伝ってもらっています。「今日は、パンがあります。パンはおてて使っているよ」「スープ飲むときは両手使おうね」などさりげなくマナーを伝えています。パンを少しずつちぎって食べる子や、かぶりついてほおばっている子もいます。「もぐもぐよく噛んでね」「たくさん食べようね」「おいしいね～」と保育士が声掛けしています。食物アレルギー誤食防止のため、皆と少し席が離れた場所で食事

している子には、そばに一人保育士がついています。

<午睡>

ロールカーテンが下ろされています。バスタオルにくるまったり、バスタオルをつかんで遊んでいる子、足をバタバタさせたり、お隣の子に話しかけたり、目を大きく開けて回りを眺めている子など様々です。保育士がおでこや、おなかをさすったり、話しかけています。次第に、目をこすったり、あくびをしたり、目を閉じる子が増えていきます。寝入った後に、うつぶせになっている子の姿勢を直していました。

【2歳児】

<朝の会>

机を囲んで、椅子に腰かけています。保育士が名前を呼ぶと、それぞれ「はい」と返事をしています。「あ〜、元気いいね、大きなお声」「ちょっと今日は疲れ気味かな」「今日はCちゃんはおやすみです。全部で、8人のお友達が来ています」と話しています。「早く来るといいね」「遊べないね」と声がしています。

<午前おやつ>

朝の会后、おやつが配られます。「今日のおやつは、えびせん（丸い形）とお茶です」と保育士が伝えています。「えびせんのいい香りがするね」「かりかりおいしいね」「お皿の上で食べらるかな」など保育士が話しかけています。かじり掛けのえびせんを「お月様だ」「ほんと、三日月みたいになったね」「今日、お散歩行く？ぜんば公園がいいなあ」「虫いるかな」「虫触れる？」「ありさんつかまえたことある」「パパとおねえちゃんは虫触れるよ」と、楽しそうな会話が続いています。

<排泄>

活動の切れ目に保育士に声かけされたり、前もって、『「～する前に」「～してから」トイレに行きたい人は行ってください』と予定を保育士が説明する場合があります。「トイレ行きたい」と保育士に伝えて、自由に行く場合もあります。ほぼ一人で始末や手洗いもできています。他のクラスの保育士が、それとなく見守りもしていました。

<食事>

配膳後に、保育士が、メニューの紹介と「姿勢に気をつけようね」「フォークを持った反対の手で、お皿を押さえようね」などマナーの注意点を話した後、挨拶をして、食事が始まります。友達同士、色々な話をしながら食事していますが「お口に入っているときは、お話ししない方がいいね」「お皿押さえる手はどうしたかな」など時々注意されることもあります。調査員が「一緒にお食事していいですか」と聞くと、「いいよー」「おいしいよ」「(調査員のお盆をみて)

すごい量だね、さすが大人だね」「パンが3個もあるよ」「全部食べる?」「ぼくはおかわりするよ」「△ちゃんはいつも早いんだよ」など色々な声がかかります。おかわりをする子も大勢います。

【3 歳児】

<朝の会>

2 階の 3 歳児のスペースで保育士を囲むように半円状にイスを置き座っていました。朝の挨拶をし、出席のシールを保育士から渡され自分でノートに貼ります。保育士がその日のスケジュールを説明します。その際、大事なことは保育士が手に持ったホワイトボードに書き注目するよう促していました。

<室内遊び>

3 歳児のスペースで、樹脂製のつなげると様々な形になるおもちゃでボールや髪飾りを作り遊んでいます。他にも車のおもちゃやブロックで遊ぶ子もいます。好きなことに熱中しています。

<排泄>

食事前や遊びの区切りなどに保育士が「おトイレ行きましょう」と声をかけ誘導しています。排泄・手洗いは各自ひとりでできています。遊びの途中でも保育士に声をかけトイレに行く子もいます。

<食事>

保育士と園児が同じテーブルを囲み食事をしました。各自のトレーに食事とお茶を乗せ保育士が配膳をしていました。おかわりをする子には量をみながら保育士が用意していました。なかなか食事がすすまない場合には、保育士が「あとひと口食べてみようか」「朝ごはんいっぱい食べたのかな」と声をかけています。ごはんやおかずが食器の中でうまくまとまらずスプーンですくえないと園児は「集めてください」「手伝ってください」と保育士に声をかけ、食べやすいようにまとめてもらっています。

食後はテーブルの中央に置いたトレーの上に食器毎に分け、各自で重ねて片づけていました。

<着替え>

食事が終わるとロッカーから自分の寝間着を取り出し着替えます。なかなか着替えが進まない場合は、保育士が声をかけています。

<歯磨き>

歯ブラシとコップを並べたトレーから自分の歯ブラシとコップをとり歯磨きをしました。席に座って磨く様に保育士が声かけしています。一通り自分で磨くと保育士に「仕上げを手伝ってください」と声をかけ手伝ってもらい歯磨きをした後、歯ブラシとコップを自分でトレーに戻します。

<午睡>

歯磨きをしている間に保育士が午睡のための布団を敷いています。午睡の前に絵本の読み聞かせをします。絵本の読み聞かせが終わると、再度トイレへの声かけをし、その後明かりを消し午睡となりました。

【4歳児】

<食事の前の活動>

食事前に、子どもたちが「どうしても ○○（ダンス）やりたい」とのことで、CDをかけて職員とともに、ダンスをはじめました。皆元気に踊っています。にこにこしながら、やる気十分です。一通り終わると、皆満足そうです。「おなかすいたー」「さあ、お食事にしようね」と、保育士が声かけすると、すばやく手洗いや、席に着く準備を始めます。

<食事>

お当番が、箸やスープの入ったお椀を皆に配っています。手早く、慣れた様子です。保育士が「おかわりは、時計の数字で5のところ、ご馳走様は6のところですよ」と時間の目安を伝えています。一緒に、食事を始めた調査員に「おいしい?」「野菜も食べないと大きくなれないんだよ」「私は、食べるの早いから、おかわりするよ」「自分の自由画帳とか粘土とか使うんだよ」「お布団のしまっておくところはあそこだよ」など話しかけてくれます。友達同士色々な話をしながら楽しそうに食事をしています。食べ終わった子から、食器を自分で下げ、歯磨きをしています。仕上げ磨きを保育士にしてもらっています。

【4歳児・5歳児合同】

<外出時の様子>

4、5歳児合同で午前中に近隣の高齢者施設訪問および、散歩に出かけます。帽子をかぶり水筒を持ち、2階から6、7人ずつ1階の玄関に下りています。外に出たところで人数と名前を確認しました。子ども2人ずつ手をつなぎ歩道の端を歩きます。保育士が先頭と最後につき行動を見守り、列を乱すことがあれば注意をしています。横断歩道を渡る際は左右を注意し手を上げて素早く渡るよう伝えています。

<老人施設訪問>

高齢者施設では全員が自己紹介をし、この日のために練習した歌と振りを披露します。10人ほどの高齢者の方々が笑顔を浮かべ、時折一緒に歌いながら楽しそうです。最後に子どもが、牛乳パックで作った小物入れを手渡しで高齢者の方々にプレゼントしました。お返しにアニメのキャラクターのキーホルダーを頂き、子どもも笑顔です。

<散歩>

高齢者施設訪問の後、4、5歳児合同で、ぜんば公園に向かいます。2人ずつ手をつなぎ列になって歩きます。

公園に着くと一か所に集まり点呼をとりながら、各自持参の水筒で水分補給をしています。公園から出てはいけないことや高いところに上ってはいけないなど注意事項を伝えて、自由に遊び始めます。鬼ごっこをしたり、砂で山などを作ったり、花や虫をさがしたりとそれぞれ好きなことをしています。「これ何の花かな」子どもが聞くと保育士は「ヒガンバナだよ。これはユリかな」と声をかけています。蟻や蝶を見つけて観察する子もいます。途中から保育士の声かけにより長縄跳びをするグループもできました。最後に全員でチームに分かれリレーを行い公園での遊びは終了です。遊びの中で、子ども同士のトラブルもあり、泣いた子どももいましたが、保育士は双方の意見を聞いています。子ども同士での解決をしている場面もみられました。

【2～5歳児】

<夕方室内自由遊び>

おやつ後の、自由遊びは人形やブロック、組み立て式線路・道路、パズルやお絵かき・塗り絵など、それぞれのコーナーが設けられています。ブロックで作った動物や人形を調査員にも説明しながら得意そうに見せてくれます。3歳児・4歳児・5歳児のクラスはロッカーで仕切られていますが（注；3～5歳児クラスはワンフロアで、ロッカーで区切りクラス活動を行っている）自由に行き来ができ、異年齢でも自然に交流しています。

【5歳児】

<食事>

テーブルに主食・副食・デザートに乗ったトレイを用意し、三角巾を巻いた2人の給食当番が温かいスープを配っています。食事前の歌を歌い、給食当番がメニューを紹介した後「いただきます」のあいさつをし、食事となりました。

約5人ずつのグループでアニメなどの話をしながら食事をしていました。その日のメニューにあったツナを食べながら「私ツナが好きなんだ」と話すと別の子が「僕は卵が好き」と答え、調査員にも何が好きか聞いています。

保育士が時計の長針の位置でおかわりできる時間、食事の終了の時間の目安を伝えていました。

主食・副食をおかわりする子や、小食のためか少なめに配膳をされている子もいました。食事が終わると自分で下膳をし、食器ごとに重ねています。

平成29年度 第三者評価事業者コメント

園名： アスク戸塚保育園

園長氏名： 吉岡 直美

【受審の動機について】

昨年に引き続き、今年度も同じ機関に評価を依頼し、第三者評価を受審いたしました。第三者の視点より調査を受けることで、継続的に専門的かつ客観的な視点で評価していただき、運営方針である「利用者に本当に求められているサービスを提供する」ということを始めとした方向性が、確実に利用者には届いているかを把握していきたいというねらいが受審の動機です。

地域に開かれた保育園として信頼を得ると共に、保護者が安心して自らの判断で保育園を選択するお手伝いのできればと考えています。今後も保護者・子どもたち・地域に親しまれる暖かい保育園でありたいと思っております。

【受審した結果】

自己評価で個々を振り返り、「保育」そのものを見直す良い機会となりました。また、職種を越えて互いを評価することにより、意識向上につながることも感じられました。

今年度は、新規年間を通し全体リーダーが中心となり、全職員が勤務形態にとらわれることなく、学びたいテーマに分かれて全員参加型の園内研修を取り込み、意識向上を行う等チームワーク作りに力を入れました。その成果で「職員の連携によるきめ細かい対応」を評価していただけたのではないかと感じています。

改善の提案をいただいた「第三者委員の再確認」については、日常寄せられる意見や要望・苦情についてしっかりと対応する為に、苦情解決窓口として機能できる様、現在の第三者委員との繋がりを再確認します。また、様々な第三者からの意見、視点も取り入れた保育を行っていくことで、園全体の質の向上を目指してまいります。

今後も、本園に通園する子どもたちに合ったサービスの向上・園運営を行えるように、引き続き自己評価を行い、その中から課題を見出し、日々の保育を大切に、保育の質の向上と共に保育士としての質の向上に努めてまいります。加えて、子育て支援に関する情報や企画の発信を、より活発にしていきたいと考えております。

最後に、第三者評価受審に際し、ご尽力いただいた評価機関の皆様、ご多忙にもかかわらず利用者調査にご協力いただいた在園児の保護者の皆様に心より感謝申し上げます。